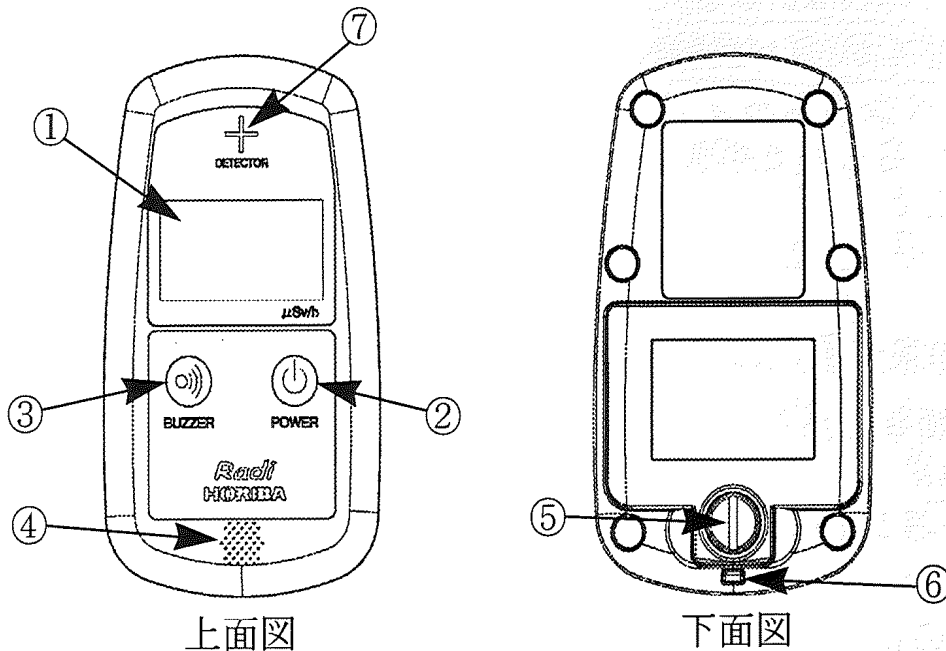



放射線量測定器 使用説明書


使用する前に、説明書を良く読んでから使用しましょう。

1. 各部の名称と働き



①液晶表示部： γ 線の線量当量率の表示 (0.000 ~ 9.999 μ Sv/h) を表示します。表示は10秒ごとに60秒間の移動平均を表示します。

ブザー音発生マーク 、

電池残量マーク 

②電源ボタン： 0.5秒押し続けると電源が入ります。再度押すと電源が切れます。

③ブザーボタン： 一度押すと γ 線が検出されるごとにブザーがピッと鳴ります。また、ブザー音発生マークが点灯します。再度押すとブザーは鳴りません。最初に電源ONした時は、ブザー音は出ない状態になっています。

④ブザー用穴： ここからブザーの音が出ます。

⑤止めネジ： 電池交換時に、コインなどを使って回し、フタをはずして電池を交換します。

⑥ストラップ用穴： ストラップを通す穴です。

⑦センサ位置： ここに放射線を検出するセンサが入っています。

2. 使い方

測定器は、「ジッパー付きポリバッグ」で包んでお貸しします。測定する時はこの袋を取らず、そのまま使用してください。

万一、泥や砂などが付着した場合は、布等で拭きとってください。

(泥や砂等が付着すると正確な値が表示できなくなる可能性があります。なお、測定する放射線はビニールを透過するので測定値に影響はありません。)

(1) 測定場所で測定器を地面と平衡にしてください。

< 測定例 >



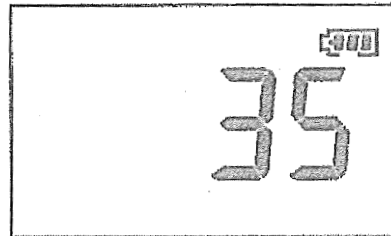
(2) 電源を入れます。電源ボタン  を、「ピッ」とブザーの音が鳴るまで押してください。(0.5秒長押し)



斜めに強く押したり、ボールペンの先で押すと、ボタン部分が壊れることがありますのでしないでください。

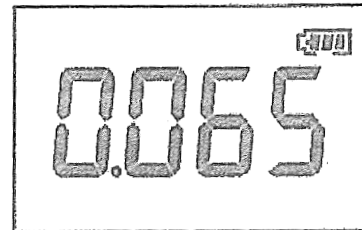
(3) 電源をONにするとブザーが「ピッ」と鳴り、数字「35」が点灯して、1秒ごとに数字が1減ります。(測定の準備中です。)

<最初の35秒表示>



(4) 電源ON後、35秒以降に空間放射線量の測定値を表示しますが、正確に測定するため、60秒以降の数値を読み取って記録してください。

<電源ON後35秒以降の表示>



測定の見方

- ・測定値は1時間当りの線量率です。
- ・単位は、マイクロシーベルト毎時 ($\mu\text{Sv}/\text{h}$) です。
- ・1ミリシーベルト/時 = 1,000 マイクロシーベルト/時
($1\text{mSv}/\text{h} = 1,000\mu\text{Sv}/\text{h}$)

新たな測定ポイントや別の高さで測定する場合は、場所を移動してから60秒以降の数値を読み取り記録してください。

1箇所の1つの高さで10秒ごとに5回測定しそれぞれ記録して、平均値を算出してください。(より正確な値が得られます。)

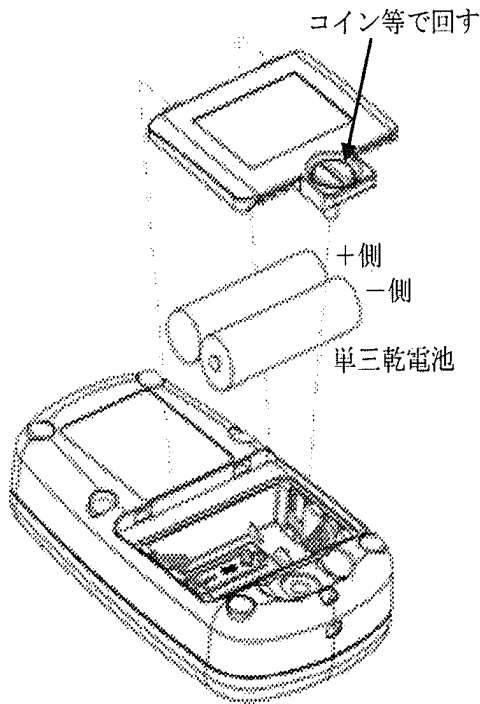
液晶表示部の前方についていつ「+」マークの下に放射線を検知するセンサがあります。

(5) 測定終了後、電源ボタン  を押して、電源を切ってください。
POWER

(6) オートパワーオフ機能


電源が入ってから3時間で自動的に電源が切れます。電源が切れるときは、以下の表示(A・OFF)が点灯表示し、約10秒後に電源が切れます。





3. 電池の交換



【ご注意！】

- 電池の+と-を間違えないように正しくセットしてください。
- 電池は、単三型乾電池（マンガン電池、アルカリ電池）を使用してください。オキシライド乾電池は使用しないでください。
- 充電式の電池（ニッケル水素やニッカド電池等）は使用しないでください。
- 電池が消耗すると、電池マークの枠が点滅し、10秒後に切れます。

(表示で点滅します) 新しい電池と交換してください。

電池の状態	表示
新品状態	
少し消耗	
かなり消耗	
電池切れ	 (枠のみが点滅)